

くつきの森 ニュースレター

第55号 2025年10月10日発行
NPO法人麻生里山センター
〒520-1451 高島市朽木麻生443
Tel. 0740-38-8099
Fax 0740-38-8012
E-mail: asosatoyama@zb.ztv.ne.jp

TOPICS

栃餅が食べたい！ トチノミ 430 個

トチノキ。朽木源流域の森を代表する木のひとつ。そして地域の伝統食「栃餅」に欠かせない木。そのトチノキの「調査・保全・活用」に取り組んでいる「巨木と水源の郷を守る会」代表の小松明美さんから8月下旬のある日、「くつきの森の、ほれ、あそこのトチノミ、拾いたいので！ ついでにどれくらい落ちるか調べて！」と頼まれ、急きょ「樹木園」（ユリノキ広場の近く）に植えた1本のトチノキの「トチノミひろい」が始まりました。

／ ／ ／

このトチノキ、樹齢は40年と少し。10年くらい前から実を落とすようになりました。でも、気づいたときにはほとんどが消えていました。ネズミ（アカネズミ）が持ち去ったと思うのですが、「巨木の会」の小松さんはシカが食べると言います。「シカがトチノミを頬張って食べる様子が記録されていた」という赤外線カメラを使った調査報告もあります（山科千里＜2017＞朽木地域における野生動物によるトチノミの捕食）。

そこで8月27日、このトチノキのまわりをシカ防護ネットで囲いました。小松さんもいっしょです。ネットが地面に

接するところはしっかり固定しました。小松さんは「シカが嫌う」と言ってネットのまわりに、さらにヒラヒラの荷造りテープを張り巡らしました。

ネットの効果か、それとも実の落ち具合を頻繁に確認したからか、9月8日に初めて6個の実が落ちているのを確認。その後9月26日まで、約ひと月にわたってたくさんの実を拾うことができました。拾った実（種子）は数を数え、ひとつひとつ重さを量りました。結果はこんな感じでした。

総数	約430個
重さ（計）	約7.8kg
重さ（平均）	約18g

拾った実（種子）は、一部を播種用にまわし、あとは栃餅用です。水に1日ほど漬けて虫を追い出し、現在天日乾燥中。11月15日の「20周年」行事のとき、このトチノミをつかった栃餅が食べたいと言ったら、「間に合わない」と小松さん。残念。

なお、今回もう一本、別の場所（駐車場近く）でも「トチノミひろい」をしました。シカが入りにくいようにと、ヒラヒラテープを地面にはりめぐらす対策をしました。その結果、総数約100個、重さ計約2キログラム、1個平均の重さ約20グラム。成った実の数が少なかったからか、1個当たりの重さが大きかったようです。（え）

太陽生命 協定林の活動

にぎやかに ビオトープ整備 7/19(土)

太陽生命からは社員家族3組を含む13名が参加。市の森本次長、龍谷大の上西先生も加わって賑やかな作業になりました。草刈り、橋直し、スギの間伐、地蔵さんの掃除、そして子どもたちは上西先生による生き物観察。作業後は近くの北川で川遊び。みんな楽しそうでした。雨が降らず、池は水が少なめですが、ビオトープらしくなってきました。（え）



↑アカハライモリ捕まえた！

132本

コース沿い樹木調査 9/10(水)

協定地の遊歩道沿いには、主要な木119本（59種類）に樹名板が付いていました。でも設置したのは15年前。樹名板が腐ったり、木そのものが枯れてしまったものもあります。そこで、樹木を選び直すことになりました。

滋賀県立大学の野間先生の指導で現地を歩き、132本（49種類）の樹木を選びました。今回は、それぞれの木の太さも測りました。写真も撮りました。太陽生命の秋山さんと笹野さんに加え、市森林水産課、県森林整備事務所からも応援があり、調査はほぼ完了。リストの整理、地図の作成、新しい樹名板づくりや設置など、更新作業はいましばらく続きます。（え）



イベント報告

2025年7月～9月

フレッシュ 7/5(土)

森の自然講座／きのこ夏

短い梅雨があつという間に終わり、8～9割が水分のきのこにとって、夏の暑さと雨の少なさは致命的。どうなることかと思いましたが、前々日にざっと降った雨のおかげでひさしぶりにきのこも顔を見せてくれ、予想以上にたくさん観察することができました。中でもマンネンタケの幼菌はフレッシュできれいでした！ (い)

マンネンタケの幼菌→



新発見 7/26(土)

森の自然講座／土のいきもの

毎年恒例、上西先生の土と川のいきもの観察会。今年は連続2日間でお泊り可能にしてみたところ6組が連続ご参加。初日の「土のいきもの」は北谷橋近くの土をさがごそ。小さく動く謎の物体を顕微鏡で見てみると、毛がいっぱいだったりとくさんのパーツに分かれていたり。オオゴキブリの脚の付け根が紫外線で光っていたのは新発見でした。(い)



↓光るオオゴキブリ



大人のほうが必死！ 7/27(日)

森の自然講座／川のいきもの

相変わらずの人気講座。今年は水位が低く水温が高く、生き物が少なめなので、探す範囲を広げました。必死の採取タイムでとれたのは、水生昆虫や魚、オタマジャクシなど。「短時間に大量の雨が降っても水は溜まらず流れてしまう。川の水量を上げるためには雨が降り続けることが必要」とのお話。しとしと雨は人にも生き物にも大事だね。(み)



↑観察場所の麻生川上流

きのこも 8/23(土)

森の自然講座／昆虫

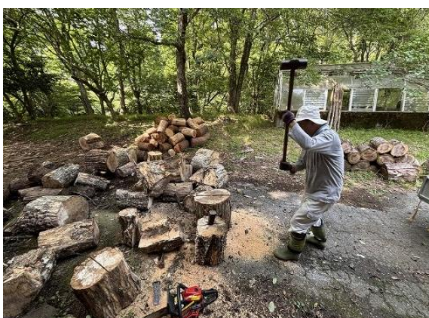
こちらでも毎年お世話になっている西田先生の昆虫観察会。今回はご夫婦で来て下さり、昆虫と共にここ数日で急に顔を出したきのこの解説も聞けるというスペシャルな講座となりました。行く先々で虫やきのこを次々に発見。池を通過中、オニヤンマの産卵に遭遇したり、ほかにもコクワガタ、ハンミョウ、バッタなどたくさん観察できました。(い)



せつせと薪づくり 9/27(土)

未来の森づくり

今年から3年間の事業として始まった「里山林活性化による多面的機能発揮対策」は、森林資源を有効に活用することが要件になっており、くつきの森ではコナラは薪として、クリは道路整備等の資材として活用することになっています。このため、日頃から、未来の森づくりで切り出した材の薪づくり作業に励んでいます。(わ)



「くつきの森」 指定管理更新への道 ～目指せ5期目の指定管理～



「森林公園くつきの森」は高島市が保有し、私たち「特定非営利活動法人 麻生里山センター」が指定管理者として管理しています。期間は5年。2025年は2021年からの指定管理期間の最終年ということで、次の5年間も指定管理者に選ばれるために8/21に市役所主催の現地説明会に出席しました。これから申請書の提出、選定会でのプレゼンテーション、と手続きが進みます。皆さま応援をよろしくお願いします。(き)

夏の受入れ

森林体験学習

7/3(木)

帝塚山小学校

暑い夏の日、奈良県から帝塚山小学校3年生52名の子どもたちが森林体験学習にやってきました。くつきの森のほか新旭のかばたなども訪れるとのことで、午前午後でクラスを入れ替えて活動です。

「生の自然に触れて五感を伴う体験をしてほしい。」「草木や生きものとの出会いが学習に結びつくといい。」先生のお声もあり、4年生のやまのこ学習でおこなう「森の探検」をアレンジ。活動のポイントは、生きもの探しや草木の観察に加え「知ったことを生の自然で確かめる」です。木と生きものの関わりのほか、森のなかで起こっているシカの食害を紙芝居で話したあと、それを確かめに行きました。



森では、「森は怖いところだと思っていたけど、それだけじゃないことがわかった。」「僕は大阪に住んでいるから、この森の水を飲んでいるんだ。やった!」聞こえてくるたくさんの声。シカの食害に遭った林を見て「ぼく、山に住もうかな。」「ぼくは、猟師になろうかな。」木の実生を教えると「大きくなるかな、食べられちゃうかな。奈良にシカを集めるといいかな。」そんな声も。発見や驚きとともに子どもたちの「考える」学びの姿がありました。(ゆ)



みつけるたかしま

7/28(月)

こども記者クラブ

まだまだ知らない高島の人・コト・モノを子どもたちが記者となり取材して新聞をつくる「こども記者クラブ」で、くつきの森にも3組7名の親子が来園。森を歩いて気になったこと、興味を持ったことをスタッフに質問しながら、すらすら原稿用紙にまとめていました。完成した新聞を号外版として入れていますので、ぜひご一読ください。(い)



なんでこの日に 雨降るねん!

8/5(火)~8/6(水)

すみまちキャンプ

朽木地域住みよいまちづくり推進協議会とくつきの森との共催行事。地元の小中学生19名が参加しました。3週間近く雨が降らなかったのに、この日の夕方にまさかの雷雨。建物に避難しながらの活動となりましたが無事に2日間を終えました。大人はクタクタになったけれど、「楽しかった!」「来年も参加する!」との声に嬉しさ100%です!(み)



石とガンプラ

8/1(金)

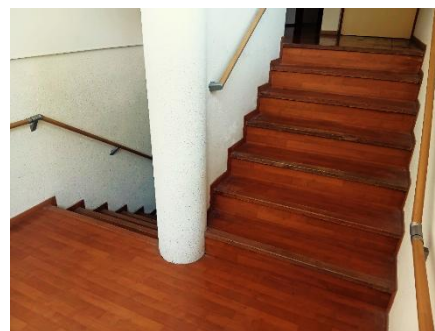
朽木学童保育

「去年より水の量少ないし、あったかいな〜」「去年はひんやりしてたな〜」初めは「何もいない〜どこにいるん?」と言っていた子どもたちでしたが、「アカハラいた!」「小さい魚も!」とアミや手でどんどん捕まえていました。コオニヤンマのヤゴやヨシノボリも。川で拾った石を使ったストーンアートは「去年のもガンプラと一緒に飾ってる!」とのこと。いい価値観です◎ (い)



やまね館のちょっといい話

~階段に手すりが付きました~



建物が完成してから40年以上の間、たくさんの人たちを迎えてきた「やまね館」。

古びてきているところは少ないのですが、一方で今なお地味に進化もしています。この夏は地下への階段に手すりが付いて、お風呂やシャワーの利用がますます安全に! ぜひ、くつきの森「やまね館」にお泊りください。(き)

やまのこ

やまのこ指導員・加藤みゆき

鹿シカしかし…

やまのこの受け入れが途絶える 7～9月。指導員はヒマだろうなと思っているみなさん！いえいえ、私たちはこれから準備を進めておりますよ。

これまで「伐倒体験」でスギ、ヒノキ

を切り倒して来た伐倒地に、将来のやまのこ学習のために植林することになりました。しかし今、森はシカの食害により獣害柵を設置しなければ木が育ちません。なので、「やまのこ実験林」と名付けた場所に、獣害柵を設置。このあと、地ごしらえをして春先に子どもたちと植林する計画です。シカのせいで余計な仕事が増えてしまい、困ったもんです。シカし、シカを

シカってもシカたない。生き物たちとうまく付き合ながら森を育てていきましょう！

シカさん入らないでね



さばびあん

鯖美庵まつりで 草木染めとお箸づくり

9/28(日)

約 30 年前から開催されていた、鯖街道の宿場町ならではのイベント「鯖美庵まつり」が「米まつり」を経て再び復活！お天気にも恵まれ、会場は大賑わい。くつきの森も体験コーナーを出店し、たくさんの方に来て頂きました。(い)



北部振興共創会議

8/25(月)

滋賀県北部に位置する高島市・長浜市・米原市が合同で、企業の研修を受け入れることにより平日の利用促進につなげ、地域の活性化を目指すためのキックオフ会議が開催されました。

森林公園くつきの森では太陽生命保険(株)をはじめ、伊藤忠商事(株)の新入社員研修、最近では大和ハウス工

業(株)の森林整備活動など、今までも企業のみなさんとのご縁を大切にしながら、森での活動を進めてきました。

今回は、地域の受入施設、事業者、企業、行政など様々な立場から意見交換が行われ、いままでこつこつ積み上げてきた信頼関係が再評価されていると感じました。「三方よし」の近江商人を見習って、森に関わる全てがよしの精神でこれからも取り組んでいきたいです。(い)

琵琶湖企業の森 フォーラム

～企業の思いを、たかしまの森林に～

8/26、新旭町の高島市観光物産プラザで、滋賀県主催の「琵琶湖企業の森フォーラム」が開催されました。企業によし、地域によし、環境によし、の三方よしの関係を目指しての報告や意見交換があり、その中で太陽生命保険株式会社 陶山執行役員よりくつきの森で長年続けられている「太陽生



命くつきの森林」での活動を事例紹介していただきました。私たちと企業のこうした活動が、これからも続いて広がっていくことを願います。(き)

いよいよ稲刈り

9/8(月)

前回は田植えの様子をお伝えしましたが、あっという間に収穫の時期を迎えました！秋雨前線がやって来て、なかなかすっきりしない雨の合間に日当たりが悪くぬかるんでコンバインが入らない場所をまず手で刈っていきました。田植えの時同様、足を取られドロドロでしたが、なんとか半日で刈りたいところは一段落。しっかり乾燥させて「くつきの森のお米」として、やまね館で販売予定です。(い)

→稲刈り談義中
左から麻生の(い)さん(え)さん、地子原の(き)さん



くつきの森 行事カレンダー 11月～12月

- 11/8 (土) 森のいやし～和みのヨーガ～
- 11/15 (土) 20周年記念セレモニー
- 11/22 (土) 未来の森づくり
- 11/29 (土) 森の自然講座(冬の森)
- 12/13 (土) 里の手しごと(クリスマスリース)
- 12/20 (土) 里の手しごと(門松)

●森の編集部(あいいうお順)

(い)石塚和 (え)海老澤秀夫 (き)木下彰

(み)加藤みゆき (ゆ)長澤由香里 (わ)若林譲

●編集後記

「ちらら米」としてやまね館に並べたくつきの森のお米は、ネーミングが良かったのか？もうすぐ完売！来年以降も継続してお米が作れるように、今から計画を立てていこうと話しています。(い)